



報道関係各位

2019年7月17日

「第9回 雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会」 に協賛します

2019年7月31日（水）札幌市 荒井山シャンツェにて

雪印メグミルク株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：西尾 啓治）は、2019年7月31日（水）に札幌市で開催される「第9回 雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会」（主催：公益財団法人札幌スキー連盟、公益財団法人北海道スキー連盟）に協賛し、スキージャンプの振興とジュニアジャンパーの育成を応援します。

「雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会」は、小中学生の活躍する場をより多く提供し、ジュニアジャンパーの育成に貢献したいとの願いから、2011年より開催し今年で9回目となります。

本大会は北海道で今夏行われる、他のジュニア大会を含めた総合ポイントによる「北海道シリーズトータル賞」を表彰することから、参加選手にとってシリーズを締めくくる大会にもなっています。ジュニアジャンパーが元気に翔ぶ様子を取材にご来場ください。

今年初の試みとして、ジュニアジャンパーに向けて、雪印メグミルクの管理栄養士による「食育ミニセミナー」を開催するとともに、指導者・保護者の皆様に向けて、成長期やスポーツ時における食事や栄養に関するアドバイスをおこなう「食育ブース」を出展いたします。

雪印メグミルクは、スキージャンプを通じて、子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。



昨年開催の第8回 雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会の様子

【大会概要】

- 大会名 第9回 雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会
- 主催 公益財団法人札幌スキー連盟、公益財団法人北海道スキー連盟
- 協賛 雪印メグミルク株式会社
- 日時 2019年7月31日(水)
8時30分～ 開会式・国旗掲揚
9時00分～ 試技開始(小学生1部より開始)
9時30分～ 競技開始
- 会場 札幌市荒井山シャンツェ
- 組別 小学生1部(1～4年生) (スモールヒル K=25m)
小学生2部(5～6年生) (スモールヒル K=25m)
中学生男子の部 (ミディアムヒル K=55m)
中学生女子の部 (ミディアムヒル K=55m)
- 表彰 (1) 小学生1部、小学生2部、中学生男子の部は1位～6位
(2) 中学生女子の部は1位～3位
(3) 各組の最長不倒賞
- 北海道シリーズトータル賞
5つのジュニア大会の総合ポイントにより、「北海道シリーズトータル賞」を贈呈します。
小学生1部(1～4年生)、小学生2部(5～6年生)、中学生男子の部、中学生女子の部(各1～3位)

【北海道シリーズ】

- 7月25日(木) 第5回クラレ高梨沙羅カップジュニアサマージャンプ大会
- 7月27日(土) 第23回全日本ジュニア&レディースサマージャンプ朝日大会
- 7月29日(月) 第20回余市町全日本ジュニアサマージャンプ大会
- 7月30日(火) 第16回札幌市長杯荒井山ジュニアサマージャンプ大会
- 7月31日(水) 第9回雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会

- 雪印メグミルク特別賞
「北海道シリーズトータル賞」に入賞した選手のうち、中学生男子の部、女子の部の6選手は、2020年2月に開催される「第61回 雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会」(札幌市大倉山ジャンプ競技場)に参加料なしで出場できます。
- 食育ミニセミナー(選手向け)
ジュニアジャンパーにとって、将来の身体づくりのために、日々の食習慣が大切です。特に、補食の重要性や牛乳・乳製品を摂取することのメリット等、身体づくりのための食選択についてミニセミナーを開催します。
- 食育ブース(指導者・保護者向け)
成長期のジュニアジャンパーにとって、特に重要なのが食事です。「食育ブース」では、成長期やスポーツ時に必要な栄養と牛乳・乳製品摂取のメリットやその活用方法について、アドバイスをさせていただきます。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

雪印メグミルク株式会社
広報IR部 広報グループ
TEL 03-3226-2124 FAX 03-3226-2150